

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

政治とカネ・統一協会との癒着 選挙で自民党政治に審判を 国民の声で動く政治に

1月16日、日本共産党島根県委員会は、中国ブロック一斉宣伝で、松江市内の商店街近くで、尾村利成、大國陽介の両県議、たちばなふみ、樋野伸一、佐野みどりの各市議



訴える むらほ島根一区予定候補、尾村大國両県議、松江市議団

党島根県委員会の村穂江利子副委員長が訴えました。衆院島根1区から立候補を決意した村穂氏は、高市政権が通常国会の冒頭、23日に衆議院を解散し、総選挙に打って出ようとしていることについて「内政も外交も行き詰まりを深め『政治とカネ』・統一協会との癒着などから逃げるための解散だ」と批判。

「党利党略解散に立ち向かい、自民党政治の財界中心・アメリカいなりりの二つのゆがみを正すためにも、大平よしのぶ元衆院議員（中国比例）の議席奪還へ全力を尽くす」と決意を述べました。尾村氏は国民の暮らし置き去りの自己都合解散だとし、「国民不在の政治を変えよう」と呼びかけました。

松江市で大地震・震度5強観測 大平よしのぶ予定候補、市議団が調査



島根、鳥取両県で最大震度5強を観測した6日の地震で、日本共産党の大平よしのぶ衆院中国比例候補は被害状況の現地調査として翌日の7日から8日島根県を訪れ、1日目に震源地である安来市を調査、2日目に松江市に調査に入りました。

震度5強だった松江市の中国電力島根原発から5キロ圏内の鹿島町と島根町の住民を訪ね、話を聞きました。たちばなふみ、佐野みどり、樋野伸一の各市議、「原発ゼロをめざす島根の会」の山崎泰子共同代表が同行しました。住民は「地震で万が一、原発に事故があったら、私たちはどうしたらいいのか。外に逃げて放射線被害で死ぬか、家についてつぶされて死ぬかのどっちかだと頭をよぎった」「逃げるにしてもバスなんて来られるはずがないし、屋内退避といっても古い家で放射線なんて防げない」「津波と原発は避難の仕方が違う。両方起きたらもうどうしようもない」などと語りました。



鹿島町で市民の方と懇談

行き詰まり疑惑隠し解散 暴走政治ストップする選挙へ 日本共産党が予定候補者発表

日本共産党の小池晃書記局長は16日、国会内で記者会見し、次期総選挙の日本共産党の比例代表予定候補を発表、



現時点で比例全11ブロックに21人、志位和夫議長は立候補しないことになりました。中国ブロックは大平よしのぶ氏（47歳）です。日本共産党は総選挙で、比例450万票、得票率7・5%以上を勝ち取り「すべての比例ブロックの議席獲得と議席増」を目指します。小選挙区予定候補39人もあわせて発表しました。島根1区にむらほえりこ（57歳）党島根県副委員長、島根2区に

亀谷ゆうこ（39歳）党島根県常任委員を擁立することを発表しました。これに先立ち、日本共産党中国ブロックは13日、オンラインで新春決起集会を開き、大平よしのぶ衆院中国比例予定候補が議席奪還の決意を表明し、仁比聡平、白川容子両参院議員があいさつ。5県の代表が発言し、通常国会冒頭解散で超短期決戦となる見込みの総選挙必勝へ奮闘を誓い合いました。大平氏は「自民党政治の矛盾が集中する中国ブロックで議席を勝ち取るこそが悪政の暴走を食い止める一番の力。必ず国会へ」と訴えました。

島根町加賀では、避難計画で示されている避難経路には橋が三つあり、活断層が近くを走っており順調に通れるとは限らない「しっかりと避

大平氏は「安全に避難することができない、ましてや使用済み核燃料の処理方法さえ確立していない原発は動かしはならない」ということが今度の地震を受けて改めて浮き彫りになった」と述べました。



島根原発前で、原発ゼロの会山崎共同代表 松江市議団から報告を聞く大平氏



損屋干拓地で液状化の様子を視察する大平氏